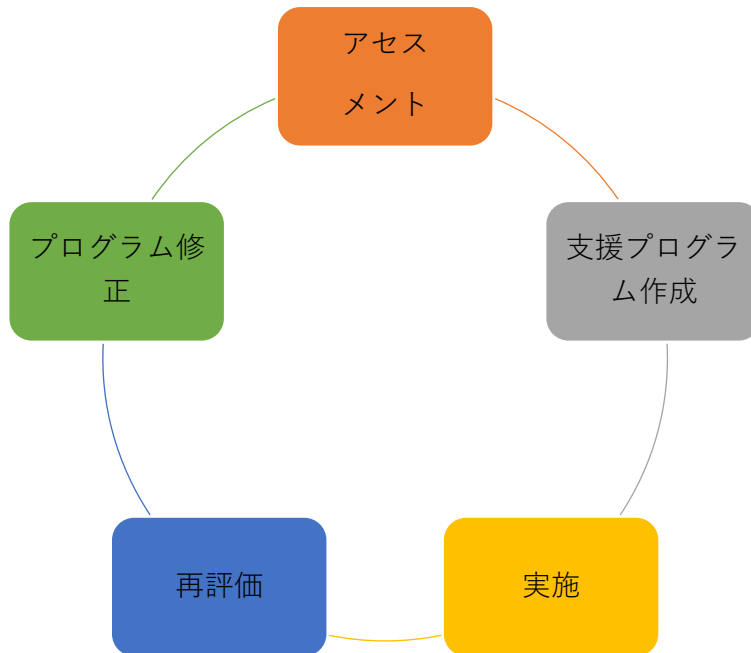




### ① 大まかな流れ

「PDCA サイクル」と呼ばれる、「PLAN（計画）」「DO（実行）」「CHECK（測定・評価）」「ACTION（改善・対策）」の流れを定期的に行います。



### ② アセスメント（評価、査定）

お子様の状況、状態を把握いたします。保護者様からの聞き取り、状況に応じたお子様からの聞き取り、職員によるお子様の直接観察、保育園や学校などの関連機関からの聞き取りなどから得られる情報を基に実施します。

くれよんクラブ高萩では、「CARS2（小児自閉症尺度）」と言う検査の項目を取り入れ、独自のアセスメントシートを作成しています。CARS2 はお子様に直接行う検査ではなく、保護者様や関係機関からの聞き取りと、職員がお子様を直接観察した情報から評価する検査です。得られた情報から、児童発達支援管理責任者、心理指導担当職員等の専門職、直接支援担当職員などの複数の職種・職員で評価を行います。CARS2 は自閉症を対象に作成された検査ですが、情緒面や、身体、運動、生活、コミュニケーション、人間関係、社会性、認知行動など幅広く評価でき、自閉症以外のお子様にも特徴を把握する際に有効だと考えて、どのお子様にも実施しています。また、その他、衣服の着脱やトイレ自立などの生活動作に関してや、余暇の過ごし方、社会との関係性など必要な項目を加えて評価しています。

# アセスメントシート

児童発達支援・放課後等デイ アセスメントシート ① 児童に関して														記入日		記入者		
氏名	男	女	関係機関名	診断名	病院	他サービス利用		有	無	特記事項								
生年月日	年	月	日	歳	投薬	有	無	家族構成		父	母	兄	姉	妹	弟	他		
対象	現状の認識 (困っていること・気になっていること)				希望・ニーズ				利用にあたっての留意点 (知らせておきたいこと)				困り感得点 (10点満点)					
保護者																		
当該児童																		
児童評価	(同年代の子どもと比較して) 1=通常の範囲内 1.5=ごく軽度の異常 2=軽度の異常 2.5=軽度と中度の中間程度の異常 3=中度の異常 3.5=中度と重度の中間程度の異常 4=重度の異常																	
評価方法	機関職員から聞き取った情報について、複数職員で評価																	
発達項目	評価												保護者からの情報				備考	
人との関係性	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
模倣	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
情緒反応	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
身体の使い方	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
物の使い方	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
変化への適応	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
視覚反応	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
聴覚反応	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
味覚触覚と使い方	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
恐れや不安	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
言語	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
非言語	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
活動水準	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
知的機能	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
全体的な印象	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
生活リズム (睡眠等)	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
食事	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
身辺処理	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
衣類の着脱	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
移動 (歩行)	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
薬	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
排泄	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
着席	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
余暇スキル	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
興味関心	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											
集団参与	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4											

保育所等訪問支援事業 アセスメントシート ② 周辺状況に関して														記入日		評価者		記入者	
機関名	担任	コーディネーター	介助員		有	無	教員数	人	特別支援学級	有	無	受容度	高	低					
特徴			支援方針					関わり方の工夫											
強み			課題					その他備考											
マップ①			マップ②					マップ③											

スケジュール概要		当該児童 職員との関係性 概要				当該児童 友人との関係性 概要				相関図
時間	概要	備考	関係性	名前	情報	関係性	名前	情報		
9:00			親密			親密			(児)	
10:00										
11:00			友好			友好				
12:00										
13:00			利害上下			利害上下				
14:00										
15:00			対立			対立				
16:00										
17:00			対等			対等				
18:00										

訪問希望時間帯	理由等	リスクアセスメント 虐待 <input type="checkbox"/> 精神疾患 <input type="checkbox"/> いじめ <input type="checkbox"/> 自殺 <input type="checkbox"/> 自傷 <input type="checkbox"/> 非行 <input type="checkbox"/> 犯罪 <input type="checkbox"/> 性的逸脱行動 <input type="checkbox"/> DV <input type="checkbox"/> アルコール依存 <input type="checkbox"/> 他害 <input type="checkbox"/> 体罰 <input type="checkbox"/> ※観察された場合は別途対応
---------	-----	---

総合所見(まとめ)	
<問題>	<解決仮説>
<方法>	<工夫>

### ③支援プログラムの作成

アセスメントに応じ、それぞれの状況や課題に合わせて支援方法、内容を選択します。支援方法は大きく①小集団支援（児童発達支援、放課後等デイサービス）、②職員 1～2 名程度対お子様 1 名の個別支援（特別支援）、③保育園や学校など社会生活での支援（保育所等訪問支援）の 3 種類に分けられます。これらを組み合わせながら、お子様に最も効果的な方法を検討します。アセスメントに基づき、個別支援計画を作成します。個別支援計画は、保護者様やお子様の説明し、同意を得て実施します。

#### 個別支援計画の例

個別支援計画（案）		作成年月日：令和 年 月 日			
利用児名：〇〇 △△		次回作成年月日：令和 年 月 日			
〇目標	長期目標	小集団療育を楽しく過ごせる	児童及保護者の希望		
	短期目標	個別課題の中で他者と楽しく過ごせる			
〇具体的な目標及び支援計画等					
項目	具体的な目標	支援内容・留意点		支援期間	優先順位
		支援内容・留意点	ガイドライン項目※		
発達支援 (健康・生活)	・日常生活に関わる動作の獲得 ・食べられるものが増える ・着席時間を伸ばす	・指先を使った細かい遊びを個別、集団遊びで実施。 ・食事場面で、見える位置に置く、口に近づけるなど段階的に抵抗感をなくす。 ・感触遊びなど興味関心のある遊びを選択し、個別支援を着席して行う。褒める際は頭を撫でる、腕を振るわせるなど身体感覚を活用。	(1) -ア (ア) a b c d e (イ) a b c d e f g		
発達支援 (高機能・コミュニケーション)	・スケジュールに沿って行動する ・指示に沿って行動する ・要求の表現方法を増やす	・スケジュールを視覚化。次の活動を予告。 ・言葉と、ジェスチャーで指示。目で見てわかる指示提示。言葉の指示を必要最低限するように注意。 ・手をガイダンスし、「頂戴」の言葉かけで他者に渡す。	(1) -ア (ウ) a b c d e f (エ) a b c d e f g		
発達支援 (人間関係・社会性)	・興味関心のあることが増える ・個別課題を楽しむ ・他者の行動を真似することが増える	・個別支援で、普段取り組まないような遊びを提示。 ・課題に取り組むと、自分の好きなおもちゃが出てくるなど、楽しい結果になるよう配慮。 ・個別支援で動作を模倣する機会を作る。	(1) -ア (オ) a b c d e f		
移行支援	・保育園の先生が円滑にお子様、ご家族と関われる。 ・保育園でも楽しく過ごす。	・保育園の先生方と上手くいく関わり方を共有する。 ・保育園の先生方と定期的に情報共有する場を設ける。	(1) -イ - (イ) a b c d e f g h i j		
家族支援	・保護者様がお子様と楽しく過ごせる。 ・保護者様が関わり方に悩んだときに相談できる。	・半年に一度、モニタリングと計画書の修正を行う時期に保護者様と面談を設ける。 ・二か月に一度、保護者交流会の場を作り、保護者様同士が相談できる関係性を作る。また、職員からペアレントトレーニングの情報提供する。	(2) (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) (カ) (キ) (ク) (ケ) (コ)		
地域支援	・保育園と円滑に連携を行う。 ・市役所と円滑に連携する。	・在籍する保育園に定期的に訪問し、情報共有する。 ・「すこやかランド」など市の事業に参加し、保健師と連携する。	(3) -イ - (ア) (a) (b) (c) (d) (e) (f) (g) (h)		
くれよんクラブにおける総合的な支援方針		利用曜日:	加算状況:	相談事業所:	
保護者同意欄 令和 年 月 日		保護者氏名: _____		くれよんクラブ高萩 児童発達支援管理責任者: ×× ××	

### ④支援の実施

支援内容は、お子様の発達や特性に合わせ、課題を設定します。小集団、個別それぞれに課題に取り組む時間を作ります。集団の活動内では、達成基準をお子様に合わせて、出来ることから徐々に広げられるように関わります。

当施設職員は非常勤も含め全職員がペアレントトレーニングを受講しております。応用行動分析に基づいた支援を標準とし、お子様に関わります。

### ⑤再評価

個別支援計画で作成した目標が、どの程度達成されたか評価を行います。評価は児童発達支援管理責任者を除く、実務対応している職員全員で評価を行います。職員が考える達成度合いについて、平均値を算出し、客観性が確保できるように留意しています。評価した結果から、児童発達支援管理責任者が個別支援計画内容を修正します。

評価（モニタリング）の結果、修正した個別支援計画については、再度保護者様、お子様に説明し、同意を得ます。同意を得て職員の支援に反映させます。